

◎地元の宝を広めよう！

私達がボランティアガイドです！

池辺寺跡は平安時代初め頃の8世紀に創建したとされ、明治時代の廃仏毀釈までのおよそ1100年間続いたと考えられるお寺です。明治3年に廃仏毀釈運動が激化し、池辺寺や周辺の石仏は壊され、一部の仏像、宝物は売却され散逸してしまいました。ですが地元では仏像供養などを継続し、現在も「池辺寺跡財宝管理委員会」として活動が続いています。財宝管理委員会による永年の活動は高く評価され、平成15年に熊本県文化財功労者賞表彰、平成20年には文部科学大臣による地域文化功労者表彰も受賞されています。このように地元の方たちの尽力により現在の史跡、池辺寺跡は守られてきました。平成24年から28年まで池辺寺跡の短期整備を行ってきました。そして史跡を訪れる方たちを案内するために有志により結成したボランティアガイドの養成も行い、整備工事が終了した平成28年度からガイドとしての活動を行なっています。主な活動は要請があれば池辺寺跡の案内、月1度の自主勉強会、参加行事における周知活動などです。ガイドは現在6名いて、皆さん地元に住まっています。自分の生まれ育った土地に池辺寺というすごい遺跡があることをきっかけに歴史や文化財に興味を持たれ、現在は史跡整備された池辺寺跡の案内や周知活動に尽力されています。



独鈷山散策

ガイド募集中！

◎平成29年の活動

○展示

金峰山少年自然の家にて池辺寺跡出土土器・瓦を展示中
熊本市埋蔵文化財資料室にて土器・瓦・石製品などを展示中
森都心プラザにて展示（6月1日～30日）

○講演など

熊本市歴史講座「国史跡 池辺寺跡」（4月9日）
池辺寺観音祭講和「池辺寺の歴史と謎」（9月10日）

○見学会・ウォーキング

JR九州ウォーキング「元気だくまもと！池上史跡タイムスリップ
ウォーク」（1月21日）
池上校区ウォーキング大会（1月21日）
高橋小学校百塚見学（1月21日）
熊本市歴史ウォーク「国史跡 池辺寺跡」（4月23日）
川尻小学校池辺寺見学（10月5日）

○地域行事

池の上小学校「味生祭」（2月12日）



JR九州ウォーキング



川尻小学校 池辺寺見学

出土品の紹介⑧ 石帯具

当時の役人が公儀で着用していた帯の飾りのことです。丸いものと四角いものがありますが、池辺寺跡からは四角い「巡方^{しゅんぽう}」が出土しています。役人が使うものなので池辺寺にいた僧達のものではないと考えられます。この石帯具が出土した百塚の東方には当時の国府と考えられる二本木遺跡群がありますが、数点の帯飾りの出土だけで役人・役所との関連を決めることはできません。ですが寺の性格や建立の背景などを考える上で重要な遺物です。



池辺寺跡から出土した巡方

宝物の紹介⑧ 浮木観音像…市指定文化財

池辺寺縁起絵巻の第一話に登場する観音像です。観音様のお告げにより味生池に住む悪い龍を鎮めることになった真澄という高僧がいます。絵巻には池辺寺を建てた人物と記されています。真澄が悪い龍を鎮めたあとに観音様のお告げがありました。「仏像をつくるというなら、池に木を浮かべておこう」。翌朝池に行くと観音様の言葉通り木が浮かんでいました。その木を用いて彫られたのがこの浮木観音像といわれています。



浮木観音
(池辺寺跡財宝管理委員会所蔵)



熊本市立池上小学校3年生児童(平成29年度)
の作品です。

あじろのいけ りゅう
「味生池と龍」伝説を描いています。



<ボランティアガイドの紹介>

- 谷川忠光さん、昭和20年生まれの72歳です。趣味はゴルフに旅行、食べ歩きです。池辺寺と関わりのある胎内仏は、実は谷川さんのお爺さんが昭和17年、農作業中に偶然見つけたもので、家の仏壇に飾ってあったそうです。池辺寺のある場所は昔の遊び場だそうで、遺跡が見つかる前のことを良くご存知です。池辺寺に関する全般を勉強されていますが、謎が多い所も魅力だと皆さんに知ってもらえるよう努力されているそうです。『年をとったら「きょうよう」と「きょういく」だと思う。即ち今日用事がある、今日行く所があるを楽しみたい』
- 西 知洋さん、73歳です。趣味はスポーツ観戦と旅行です。熊本市の行なった池辺寺関連の講座を聞いたことをきっかけに、自分の住む地元の昔を探るためにガイドに参加されています。「池辺寺は小さな町の大きな宝物」
- 橋本洋樹さん、69歳です。趣味はゴルフとオーディオです。先輩に誘われて池辺寺に関わるようになりました。百塚地区と馬場上地区が得意です。多くの方に池辺寺を知ってもらい、訪ねてもらい感じてもらうためのお手伝いを頑張っています。「池辺寺は日本に誇れる郷土の遺跡です」
- 田中寿満さん、71歳です。趣味は詩吟、尺八、漢詩です。最近では漱石記念漢詩大会や日総連九州地区常任理事吟詠大会にも出場されています。池辺寺の伝説を紐解き、語るためにガイドになりました。趣味を生かした縁起絵巻や味生池の語りが得意で、池辺寺や味生池の歴史ロマンを語ることを意気込みとされています。「池辺寺は永遠のロマンです」
- 中村良一さん、70歳です。趣味はゴルフと家庭菜園です。池辺寺が広く知れ渡るようにと資料の作成や多くの市民の方たちへの宣伝を行なってガイドのお手伝いをされています。「平山に見学コースができたので多くの人に知ってもらえるように頑張ります」
- 植田忠司さん、77歳です。趣味は読書とスポーツ観戦です。8年前に3町内公民館講座として池辺寺跡のことを学び、その後の流れでガイドに加わっています。縁起絵巻の複製をつくる時の関係者の1人でしたので、縁起絵巻物に関心があります。



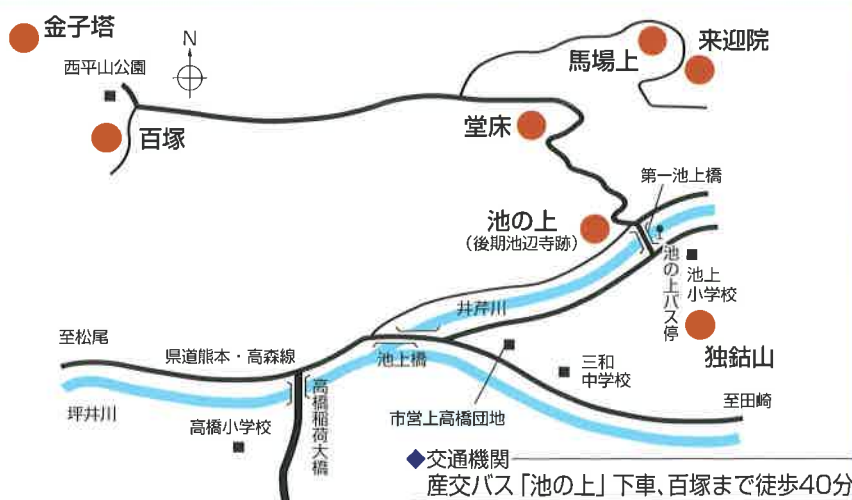
熊本城ガイド体験



百塚から見える朝日

百塚からの御来光！

2017年の年末に百塚の中央から日の出の写真を撮ってきました！史跡池辺寺跡から真東にあたる方向に花岡山があり、その向こうには国府の推定地である二本木遺跡群が位置していますので、池辺寺跡と方位は重要な関係にあると考えられています。午前7時30分頃に日影山の南から日の出が登るのが見えました。1200年前の僧達もこの御来光を拜んでいたのでしょうか。



お問い合わせ

熊本市役所文化振興課 埋蔵文化財調査室

電話

096-328-2740

メール

maizoubunkazai@city.kumamoto.lg.jp